

令和5年度 青森市子ども会議 臨時会議その2

- 1 日 時 令和5年6月11日（日）9時30分～12時30分
- 2 場 所 青森市総合福祉センター2階 大集会室
- 3 出席者 子ども会議委員10名、子どもサポーター2名、事務局2名
- 4 活動内容 (1) 第1回青森市子ども会議に向けた準備
(2) 浪岡子どもの祭典に向けた準備

5 開催概要

みんなに会うのも3回目の今回は、すぐに第1回子ども会議と浪岡子どもの祭典に向けた準備活動に取り掛かりました。今回の会議では、新しく入った委員が中心となって活動を進めました。

第1回青森市子ども会議に向けた準備

今日参加できない委員にも事前にLINEで聞き取りをしていた意見も合わせて、第1回会議の役割を決めました。基本的に、被らない限りは立候補した役割のままで決定しましたが、司会だけ被ってしまったので、今回は経験のない小学生委員が務めることになりました。これまでは中高生委員がやっていたので、小学生委員が司会というのは珍しい試みです。第1回会議が楽しみです。

役割を決めた後、今年度の活動計画などの発表原稿や発表スライドを見直すチームと、子ども会議公式Instagramへの投稿内容を考えるチームにわかれて作業しました。



発表原稿チームでは、新しく入った中学生委員が中心となってみんなで発表原稿を読みながら、分かりづらい部分の言い回しを考えたり、読めなかった漢字にふりがなをふったり、新しくセリフを増やしたりなど、順調に校正を進めました。最後に今年度の抱負について考え、「輝かせたい」や「自慢できる青森市にするため」などキーワードになるような言葉は出ましたが、納得のいく抱負にまとめられなかったため、後でみんなで考えることにしました。

発表スライドチームも新しく入った小学生委員が中心となり、パソコンを実際に操作しながら修正しました。絵文字を追加したり、イラストの大きさや色を変えたりして、少しでも見やすいように工夫しました。発表スライドチームでも今年度の抱負について少し考えましたが、「楽しく活動したい」や「発信をがんばりたい」という意気込みが多く出ました。

子ども会議公式 Instagram への投稿チームは、新しく入った高校生委員やサポーターが中心となって投稿内容を考えました。文章は、見た人が親しみを持ちやすいように絵文字を多くしたり、呼びかけるような言葉を使ったりしたほか、検索でヒットするようにハッシュタグを多く考えました。



投稿する画像については、どんな写真が良いかアイデアを出し合い、後日高校生委員が作成します。本番の 1 週間前には投稿できるように作業を頑張ります。

最後に、各チームの作業がひと段落したため、みんなで今年度の抱負について考えました。高校生委員が考えてくれた「より良い青森市にするため、かくれた魅力を輝かせよう」をベースに、ほかの委員からでた「自慢できる青森市」や「自分たちの手で」などの言葉を組み合わせ、「みんなが自慢できる青森市にするため、かくれた魅力を自分たちの手で輝かせよう！」に決まりました。

浪岡子どもの祭典に向けた準備

最後に、前回の会議で手がけた「青森市子ども会議について」「今年度の活動について」「子どもの権利について」の 3 つの模造紙についてペン入れ作業等を進めました。

この模造紙は、7 月 2 日の浪岡子どもの祭典で青森市子ども会議が出店するブースの展示物になるので、目を引くような字体にしたり、カラフルに色を塗ったりして、ほぼ完成させることができました。最後の 1 枚は、子ども会議公式 Instagram の QR コードを貼って、それに合わせてイラストをペン入れして完成します。



次回の第 1 回会議では、初めて会う西市長に今年度の活動予定や抱負などを発表します。事前にリハーサルをしてしっかりと本番に備えたいと思います。